

'10.11

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行所 兵庫県商工会連合会
発行人 会長 木南岩男
神戸市中央区花隈町6の19
☎078(371)1261(代)〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 安平一志
印刷所 大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります

第 639 号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

～商工会法施行50周年～

平成22年度スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します



▲事業所外観、奥の作業場では、多いときで一日二千食が作られている

Contents

- 県連合会経営支援Letter 2～3頁
 - ・ 販路開拓研究会
 - ・ 第2回経営支援アドバイザー養成研修会
 - ・ 労働環境対策事業採択委員会
 - ・ 近畿ブロック商工会 交流研修会・主張発表大会
 - ・ 第2回研修会(同友会)
 - ・ 労働環境対策委員会(県青連)
- あなたのまちの元気な企業(佐用町) 4頁
- 商工会Letter 5～6頁
 - ・ 円心モロどんスタンプラリー(上郡町商工会)
 - ・ きらっと北摂フェスティバル開催(三田市商工会)
 - ・ 神戸市にチャレンジショップオープン!(新温泉町商工会)
 - ・ 「第十一回まっせまつり」&「銀の馬車道交流館まつり」開催(神河町商工会)
 - ・ 外湯めぐりは「ゆかたクレジット」で(豊岡市商工会城崎支所)
 - ・ SHIFT講習とスナックゴルフ体験講習(市川町商工会)
 - ・ 中小企業振興のための金融・技術支援研修生の受入れ(朝来市商工会)
 - ・ 猪名川町土産「猪鹿鳥」三点セットはるさめ誕生(猪名川町商工会)

平谷製麺所は、佐用町にある。この町のB級グルメ「ホルモン焼うどん」に欠かせない特製うどんを製造している。

事業主の平谷知佐衣氏は三代目。娘たちと協力しながら麺を製造し、町内十店舗余りのホルモン焼うどん店のほとんどに卸している。

昨年度の台風九号による水害で、事業所、自宅ともに大きな被害を受けたが、卸先や周囲の人びとの励ましもあり、三週間で営業を再開した。

現在も、味にこだわった麺を作り続けている。

(関連記事 四ページ)

ホルモン焼うどん
こだわりの麺

各種支援メニューの活用を図る

～第2回経営支援アドバイザー養成研修会～

県連合会は、九月二十一日～二十二日に福岡市・中小企業大学校関西校で第二回経営支援アドバイザー養成研修会を開催した。

本研修会は全三回のカリキュラムを計画しており、今回は農商工連携支援等による経営支援体制の強化を図るために、各種支援事業の概要について学び、実例企業のケースから提案を作り上げるグループワークとプレゼンテーションを実施した。

講師として、山本経営労

務サポート代表・山本義明氏、アナタマネジメントセンター代表・穴田喜代嗣氏、(独)中小企業基盤整備機構近畿支部事業承継コーディネーター・上宮克己氏を招いた。また農商工連携に取り組んでいる(株)本田商店 代表取締役社長・本田眞一郎氏より「播州御津の神力米を使用した糖類無添加梅酒と純米大吟醸酒の開発販売」についての事例紹介があった。

この研修では施策の説明だけでなく、ケーススタ



▲グループごとに提案に関するシートを作成

ディを通して具体的にシート作成の技法等を学ぶことにより、活用できるスキルを習得できた。加えて、実際に事業に取り組んでいる事業所から地域活性化のアイデアや苦労話を聞き、参考になったという意見が多くあった。

特産品の 販路開拓を検討

～販路開拓研究会(勉強会)～



▲各地の特産品のマーケティング戦略を検討

県連合会は、九月二十八日、県内商工会地域で開発された特産品の販路開拓・マーケティングの研究を行う「販路開拓研究会(勉強会)」を開催した。

出席者は、大学教授、専門家、商工会職員等三十二名。県立大学経営学部・池田敦教授を座長とし、各地区から特産品のコンセプトや課題などの報告を受け、有効なマーケティング戦略を検討した。

協議の中で、商工会から、商品のストーリー性の重要性、ブームが去った後の対策等につ

いての課題が多く挙げられた。また、専門家からは、他の同類商品との差別化や商品開発に係る地域色の重要性、消費者目線によるキャッチコピーやネット活用の工夫等のアドバイスがあった。

第一回目の今回は、個々の商品に対して今後のマーケティングの方向性を示唆するための結論までは至らなかったが、特産品に対する職員の意識改革・販路開拓へのヒントを掴んだものと期待される。

十三事業を追加採択

～労働環境対策事業 採択審査会～

県連合会は、九月十七日、県商工会館において労働環境対策事業の二次募集に係る採択審査会を開催した。

当日は、県下商工会からの追加要望事業について審査、若干の助成金額の変更はあったが、要望された十三事業は採択された。本事業は三年目であり、委員からは、毎年レベルアップしてはいるが、成果の検証が必要であることが挙げられた。また、この事業をやり多いものにするために「事業をやった」ではなく、「次年度にどう発展させていくか」を、職員がよく捉えてつなげることが必要であり、それをノウハウとして、より信頼される商工会になって欲しいと発言があった。

税を考える週間 11月11(木)～17(水)

動画でお見せします!!
国税の仕事
www.nta.go.jp

※ 特集コーナーは11月5日から開設されます。



始めませんか ～新しい環境貢献～

ひょうご「企業の森づくり」

環境への貢献のため、森林整備をお考えの企業や団体等の皆様のお手伝いをします。

- 活動フィールドの斡旋
- 森林整備についての助言・提案・技術指導
- 施業委託先の紹介

◆お問い合わせは◆

(社)兵庫県緑化推進協会
〒650-0012
神戸市中央区北長狭通5-5-18 農林業会館内
TEL 078-341-4070 / FAX 078-341-4071

兵庫県農政環境部 環境創造局 豊かな森づくり課
〒650-8567
神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL 078-362-3144 / FAX 078-362-3954

11月は適正計量を推進する月間です

食料品製造・販売業の皆様、
商品の内容量表示を今一度お確かめ下さい。



商品に、正しく計量された内容量が表示されていますか？
食品の表示は、消費者が商品を選択する上でなくてはならないものです。
消費者が安心して買い物ができるよう、正しい計量に努めてください。

兵庫県産業労働部産業振興局工業振興課 (電話 078-362-3344)

県青連労働環境対策事業を検討 ～労働環境対策委員会～

県青年部連合会（霞末浩二会長）は、九月二十一日、県商工会館で、労働環境対策委員会を開催した。

同委員会は、本年度県青連として労働環境対策事業に取り組むため組織されたものであり、

県青連全役員で構成されている。当日は、霞末会長を委員長とし、次の三議案を審議した。

- 一、県青連労働環境対策事業について
- 二、対象事業所選定並びに実施方法について
- 三、調査委託先の決定について

審議の結果、取り組む事業はNRCSS社内コミュニケーション

診断（厚生労働省方式）とCU BIC診断とし、各ブロック協議会で実施することとなった。

また、対象事業所選定並びに実施方法については、各ブロックで検討する事とし、調査委託先は、兵庫県で唯一NRCSSの認定診断員である社会保険労務士畑中伸介氏に委託することに決定した。

近畿ブロック商工会 交流研修会・主張発表大会

◆青年部

九月二日～三日にかけ京都市において、「近畿ブロック商工会青年部交流研修会・主張発表大会」が開催され、近畿各府県青年部員ら二百十名が出席、兵庫県からは二十六名が出席した。

当日は、七名の各府県代表による主張発表大会が行われ、それぞれの青年部活動や地域振興等について表現力豊かに、且つ、力強く発表が行われた。

本県からは、豊岡市商工会青年部・北村元気氏が代表として参加。仲間の手を取り合えば出来る事があり、それを教えてくれたのが青年部であると発表を行った。

厳正な審査の結果、最優秀

賞は福井県代表・土橋崇司氏、優秀賞は京都府代表・市田雅哉氏、優良賞には兵庫県代表・北村元気氏がそれぞれ受賞した。土橋氏は、近畿ブロックの代表として、十一月二十五日に東京都で開催される全国大会に出場する。

また、その他ファイテン株式会社代表取締役平田好宏氏より、「考えるより、即行動することの大切さ」ファイテンにみる成功と躍進の核」と題し講演が行われた。

◆女性部

九月二十八日～二十九日にかけて、大阪市において「近畿ブロック商工会女性部交流会・主張発表大会」が開催され、三百六十六名が出席、兵庫

県からは四十四名が出席した。

当日は、各府県代表による主張発表大会が行われ、それぞれの活動について活きいきと発表が行われた。本県からは、芦屋市商工会女性部・嶺山洋子氏が代表として参加、女性部活動と意思について、発表を行った。

厳正な審査の結果、最優秀賞は滋賀県代表・扇子美智子氏、優秀賞は福井県代表・円道藤子氏がそれぞれ受賞した。扇子氏は、近畿ブロックの代表として、十一月二十五

日に茨城県で開催される全国大会に出場する。



▲発表をする峰山氏

第二回研修会を開催

商工青年同友会

県商工青年同友会（島垣晃会長）は、九月十五～十六日、第二回研修会を開催し、十六名が参加した。

研修は「沼島の歴史を訪ねる」と題し、人口約六百人、一周約十キロの島、沼島（南あわじ市）を視察した。

沼島は淡路島本島とは全く性質の違う結晶片岩（変成岩の一種）で出来ており、貴重な奇岩や岩礁に取り囲まれていることもあり、地質学的にも宝石のような島である。

参加者は、沼島のシンボリック存在の「上立神岩（かみたてがみいわ）」や鎌倉時代の武将・梶原景時の墓と伝えられる梶原五輪塔などを巡り、沼島の歴史に触れた。



▲沼島の歴史に触れる参加者

主な行事予定

11月のこよみ	12月のこよみ
9日㊦ 監事会	7日㊦ 地域資源活用・農商工連携セミナー
13日㊤ 14日㊤ 商工会等職員昇格試験(面接)	10日㊤ 会計ソフト実務能力試験理事会
17日㊤ 経営支援研修会(基礎②)	16日㊤ 第3回経営支援AD養成研修会
22日㊤ 第2回人事管理委員会	
25日㊤ 青年部県外研修	
26日㊤ 女性部県外研修	
27日㊤ 29日㊤ 全国物産展	

住友生命

貯めて、使える。

保険を超える保険

LIVE ONE

スミセイ総合生活口座 | ライブワン |

あなたのまちの元気な企業 ②② 平谷製麺所

佐用町

事業所概要

JR佐用駅前商店街に事業所を構える平谷製麺所は、昭和二十三年の創業以来、うどんや中華そばを町内の食料品店や飲食店に卸してきた。現在は、三代目の平谷知佐衣氏が代表者として事業運営を行っている。

佐用町は、B級グルメ「ホルモン焼うどん」で有名で、町内に十店舗余りのホルモン焼うどん店が存在するが、これらの店のほとんどで平谷製麺所の麺が使用されている。ホルモンや野菜のうまみを吸い、なおかつ麺がべとつかない、と好評である。

苦難を越えて

二代目の順三氏の時代に、ホルモン焼うどんがマスコミに取り上げられて脚光を浴び、京阪神間からの顧客が増加。それに伴い、麺の製造も大幅に増加していった。

現事業主の知佐衣氏は、娘たちの助けを借りながら事業を切り盛りしている。不幸なことに、



▲作業場の様子 大きな釜で手際よくうどんがゆでられる

二代目の順三氏が急逝したため、知佐衣氏は、十分にレシピや製造工程を引き継げなかったという。最初は、順三氏がやっていたことを思い出しながら慣れない作業を続けてきたが、努力の甲斐もあり、今では以前に負けない品質を生み出し、昔から付き合ひのあるホルモン焼うどん店にも認められるほどになっている。

このように事業を続けている最中、昨年八月九日に兵庫県西

部を襲った大水害により、製麺所も隣接した自宅も、一メートルを超える浸水となった。機械類も水没し途方に暮れていたが、「あんた」とこのうどんがなかつたら、店が開けられへん」という取引先の励ましや、泥かきなどの人的な応援もあり、約三週間間で店を再開することができた。

その後、ホルモン焼きうどん店も次々再開。被災し疲れきっていた町民の胃を満たし、心の支えとなった。

こだわりのうどん

「昔から変わりのない味。混ぜ物はせず、いいものを作っていきたい」と知佐衣氏。「焼うどんもよいが、ぜひ一度、釜揚げで味わってほしい」

こだわりのうどんは、多い時間で、一日二千食分が作られ、ほとんどが町内の事業所に卸される。また、事業所内で一般向け販売（一玉七十円）も行っているため、買いに来る人も多い。自家製のホルモン焼うどん用つけダレの開発販売も手掛けており、町民に喜ばれている。

商工会に期待する

昨年の水害のあと、「がんば



▲町内のホルモン焼きうどん店を紹介するマップ

ろう佐用町」をスローガンに皆で頑張ってきた。B級グルメがブームになってきている今、ホルモン焼うどんをPRし、町外から人を呼び込むことで、佐用町の活気を取り戻していけるのではないだろうか。

佐用町に人を呼び込むには仕掛けが必要。今は、佐用町商工会青年部等が町外に向けて積極的に「ホルモン焼うどん」のPRを各地で実施しており、非常にありがたいと思っているのとこと。

事業所・商工会・行政が力を合わせて、佐用の元気を取り戻していったほしい。



企業概要

- ①企業名 平谷製麺所
- ②代表者 平谷 知佐衣
- ③住所 佐用郡佐用町佐用2903-3
- ④TEL 0790-82-2158
- FAX 0790-82-2158
- ⑤創業年 昭和23年
- ⑥従業員 2人

あなたの“信用”が
さらにアップ

兵庫県信用保証協会

神戸市中央区浪花町62番地の1

☎ 078(393)3900 (代表)

「円心モロどん」 スタンプラリー 〜上郡町商工会〜

上郡町商工会(小河清之会長)では、十一月一日から来年一月十六日にかけて「円心モロどんスタンプラリー」を開催する。

この「円心モロどん」は、緑黄色野菜の中でも極めて栄養価が高いモロヘイヤ入りのうどんで、同町商工会のむらおこし事業により約十五年前に誕生。「円心」は南北朝時代、上郡を拠点に活躍した戦国武将・赤松円心にちなんだもの。

今回のスタンプラリーは、町内はもとより町外からも足を運んでもらえるような、誰もが知る上郡の逸品に育てたいとの思いから企画された。町内の飲食店に呼び掛けたところ、これまでに扱っていなかったお店などの



▲円心モロどんロゴマーク

賛同も得て、予想を超える十五店が参加。メニューも、オーソドックスなものから本格カレーによるつけ麺、牛筋玉うどん、揚げ麺、モロどんの海苔巻きなど、創作料理も含めバラエティに富む。

ノボリやチラシ等の題字は、「筆文字職人」として売り出し中の堀之内哲也氏(オフィシャルサイト<http://fetsu-ya.jp>)に依頼。十一月十四日の「第二十一回商工まつり」には同氏を招聘し、PRに努める。

ふれあいの祭典「きらっと北撰フェスティバル」開催 〜三田市商工会〜

十月十六日〜十七日にかけて、三田市・有馬富士公園において、「ふれあいの祭典『きらっと☆北撰フェスティバル』」が開催された。同イベントは、毎年、県内十県民局単位で持ち回り開催しており、今回は阪神地域(三田・宝塚・伊丹・川西市、猪名川町)でつくる実行委員会

が主催。音楽や踊りのステージ、各地域の名物の出店などが行われ、訪れた家族連れなど約五万人が多彩な催しを楽しんだ。三田市商工会では、三田栗を



▲栗もちの配布に人々は大喜び

使用した栗もちの試作品を無料配布。三種類の試作品を一セットとし、両日五十セットを配布した。また、青年部は三田肉をふんだんに使用した「三田地場ーガー」を販売。会場では大人気となり、すぐに完売となった。

神戸市にチャレンジショップ オープン! 〜新温泉町商工会〜

十月八日、湯村温泉のチャレンジショップが神戸市のロードにオープンした。

これは、今年度、温泉町商工会(十月一日に合併し、現在は新温泉町商工会)が取り組んでいる「本気でがんばるチャレンジショップ」成果がみえる

ひようご湯村温泉、但馬地域活性化プロジェクト」の一環。県の公募提案型重点分野雇用創造成業に採択されている。

ショップオープンに向け、採用された十三名の店員がそれぞれプラチナ販売員を目指し、OffJTでITパスポート、簿記、販売士等、必要な資格取得に向けて研修を積んできた。

今後は、湯村温泉をはじめとする但馬地域の特産品をPR販売するとともに、但馬地域の観光情報を発信していく予定。



▲チャレンジショップ「ゆむら屋」

「第十二回まっせまつり」& 「銀の馬車道交流館まつり」開催 〜神河町商工会〜

神河町商工会(堀口勝久会長)は、九月十二日(日)、「まちな



▲あいさつをのべる堀口会長

み街道広がれ広がり 地域の輪」をテーマに、「第十一回まっせまつり」&「銀の馬車道交流館まつり」を神河町中村・栗賀町の旧街道で開催した。

独自性のある地域資源を活かした事業を展開している「銀の馬車道交流館」への来館数は、昨年と比べ大幅に増加。又、映画「ノルウェイの森」ロケ地写真展示など新たな観光スポットのPRも行われた。このまつりは、幅広い観光・広域交流事業となつて地域経済やコミュニティの活性化が図られ、盛況の内に無事終了となった。

十二月四日(土)には「第十六回わつくわくぶらり市」のナイトイベントが開催される予定。

外湯めぐりは「ゆかたクレジット」で 〜豊岡市商工会城崎支所〜

豊岡市・城崎温泉では、宿泊する人々に対して渡していた外湯券をシステム化し、「ゆかたクレジット」として導入実験を行っている。

本事業は、地域全体の活動として、豊岡市商工会（岩見勲会長）城崎支所、観光協会、各同業種組合らが設立した「城崎このさき百年会議」を母体とし、今後進められていく。城崎支所としては「ゆかたクレジットプロジェクト」を中心とし、支援する予定。

城崎温泉では、もともとゆかたの柄により、温泉街での支払いを旅館で精算できる仕組みを持っており、これを、IT技術を使って現代版に転用したも



▲導入実験が行われている「ゆかたクレジット」

のが「ゆかたクレジット」である。

全国で初めてのケースであり、城崎温泉のオリジナルシステムとして構築するため、（独）産業技術総合研究所や経済産業省の協力を得て完成を目指している。この新しいシステムを實現化することで、『電子マネーによるお買物』『外湯入浴券の電子化』『観光データの収集』『既存の割引券やクーポン券等の電子化並びに一元化』『外国語の音声案内ガイダンス』等幅広く活用することができ、城崎温泉の観光振興に大いに貢献できると期待されている。

SHIIFT講習と スナッグゴルフ体験講習 〜市川町商工会〜

八月二十一日、市川町商工会（中川俊昭会長）は、中播磨地区商工会女性部連絡協議会（安積圭美会長）と共催で、SHIIFT講習とスナッグゴルフ体験講習を行った。

SHIIFT講習では、簡易HP作成ツール『SHIIFT』を使ったHP作成の準備段階として、インターネットを中心とした基本知識パソコン基本講習

中小企業振興のための金融・技術支援研修生の受入れ 〜朝来市商工会〜

九月二十一日、朝来市商工会（古屋耕三会長）に、「中小企業のための金融・技術支援」の研修で、世界八カ国から政府職員や金融関係者など十名が訪れた。この研修は、（財）太平洋人材交流センター（PREX）によるもの。研修では、まず商工会の活動や役割について説明があり、活発な意見交換が行われた。

続いて、道の駅「但馬のまほろば」と、建設業から菓子製造販売に異業種転換した「㈱佳長」を視察。最後に立雲峡から竹田城跡のぞむ観光視察も行われ、参加者から視察先の素晴らしさと、もてなしの気持ちに対する感謝が述べられた。今後は、商工会が中心となり、行政や関係機関と連携を図りながら、グローバ



▲訪れた人々と今後の取組みが期待される。

を市川町商工会館で行った。その後、場所を地元ゴルフ場フォレスト市川ゴルフ倶楽部に移し、「国産アイアン発祥の地」をPRするための一環として同商工会が普及に取り組んでいるスナッグゴルフの体験講習を行い、約四十名の参加者でにぎわった。



▲スナッグゴルフで心身をリフレッシュ

猪名川町土産「猪鹿鳥」 三点セットはるさめ誕生 〜猪名川町商工会〜

猪名川町商工会（安井一弘会長）は、本年度「しか肉はるさめ」を開発した。これは町内において、害獣駆除の対象となっている野生鹿を、地域に愛される特産品づくりに有効利用したもの。

本品は、淡白な鹿肉に地場野菜とヘルシーな春雨を加え、風味ゆたかな合わせ味噌で、もみじ鍋風に仕立てた逸品。普段食べる機会が少ない鹿肉をカップ麺感覚で手軽に味わえる特産品として、この秋から販売を開始

した。「しし肉はるさめ」「あい鴨はるさめ」とともに、猪名川町のお土産として好評を得ており、猪鹿鳥（いのしかちょう）三点セットとしても話題を呼んでいる。商工会では、地域振興、地域貢献への一躍を担えるよう、今後も研究・開発を行っていくとしている。



▲お土産が好評！